

4. 安全と安心が確保される潤いのあるまちづくり

(1) 防犯・交通安全の推進

地域住民が、犯罪や交通事故に巻き込まれないよう、PTAや町内会および関係機関との連携を図り、各種運動の推進や啓発活動に努めてまいります。また、地域住民の安全、安心を守る町所有の防犯街路灯のLED化を促進し、維持管理の負担軽減と地球温暖化対策の推進を図ってまいります。

また、消費者トラブルが複雑で高度化している中、広域化による消費生活相談体制を継続し、消費者への教育活動・啓発に努めてまいります。

(2) 消防・救急と防災

毎年、数多くの自然災害が発生しておりますが、災害時には迅速かつ分かりやすい避難情報を提供する必要があるため、また、災害時の地域防災力の向上には、消防団の果たす役割が大変重要で、特に消防団の機動力向上のため団員確保、活動環境の整備、装備・訓練などの充実を図って

まいります。

増加傾向にある救急は、救急救命士の病院研修をはじめ、事例研究会や想定訓練研修会に参加させ、知識・技術・判断力の向上に努めてまいります。

火災予防については、防火講習会や避難訓練、ひとり暮らし高齢者世帯の防火訪問を継続実施し、さらなる防火意識の高揚に努めてまいります。災害時の迅速な情報伝達のため、八雲地域では平成27年度に防災行政無線を整備し、平成28年度から運用を開始いたしました。熊石地域では、平成28年度から防災行政無線デジタル化への更新整備を行っており、平成29年度は戸別受信機の更新をしてまいります。両地域とも、その運用について関係機関や町内会等と連携を図ってまいります。

(3) 循環型社会の推進

ごみを資源として活用する「ごみゼロ社会」の実現は、究極的目標ではありますが、当町としても目指すべき目標としております。このため、ごみの減量化および資源化に向けての取り組みを進めてまいります。平成29年度においては、可燃ごみを裁断・圧

縮して固形燃料とする、「ごみ固形燃料事業」を本格的に進めて行くため計画を策定してまいります。ごみゼロを目指すためには、町民皆さまのご理解とご協力が無ければ進めることはできませんので、今後も引き続き啓発に努めてまいります。

(4) 上水道・下水道の整備

水道事業は、安心安全な水道水を安定供給するため、老朽化した配水管の更新や施設の延命化を図るため修繕等を行ってまいります。なお、平成29年度より、八雲地域の簡易水道事業は上水道事業と会計を統合し、企業会計による事業運営を行い、引き続き健全な事業運営に努めてまいります。

熊石簡水は、平成29年度も引き続き配水管布設替工事のほか、本町・相沼泊川地区浄水場施設整備工事を行うこととしていきます。

下水道事業については、八雲地域においては八雲下水浄化センターの長寿命化事業を実施中であり、平成29年度は、前年度に引き続き水処理施設電気設備の更新を行ってまいります。

熊石地域においては、鳴神

地区の管渠新設工事を行ってまいります。なお、熊石地域における今後の管渠整備については、人口動態や費用対効果を検討し、適正な施設整備に努めてまいります。

また、下水道整備区域外については、合併浄化槽による水洗化の推進を図ってまいります。下水道汚水・し尿・浄化槽汚泥の処理一元化を行うための、汚水処理施設共同整備事業（ミックス事業）については、施設整備に向けた実設計を行ってまいります。

(5) 環境美化の推進と公園・緑地の充実

年間70万人以上が来場する道立噴火湾パノラマパークにつきましては、美しさ・楽しさ・安全を三本柱に、さらに多くの皆さまに愛されるよう、自主イベントの充実を図り、管理運営に努めてまいります。

町内各公園につきましては、引き続き町内会等の協力を得ながら、子どもたちがいつでも安全に遊べるよう、遊具等の点検を定期的に行い、適正な維持管理に努めてまいります。

5. 健やかに充実して暮らせるまちづくり

(1) 保健・医療の充実

「八雲町健康増進計画」に基づき、生涯を通じた健康づくりを重視した健康分野別の目標達成に向け、関係機関と連携を図りながら地域ぐるみの健康づくりを推進してまいります。町民一人ひとりが自分の健康状態に意識や関心を持ち、疾病の早期発見・早期治療、生活習慣の改善と生活習慣病の予防を行えるよう、町民ドックや住民健診、各種がん検診、健康づくり教室等の各種保健事業への受診・参加の勧奨を行い、健康づくりに取り組むための知識の普及啓発に努めていきます。

特に、子宮頸がんおよび乳がんの検診については、引き続き一定年齢の対象者に無料クーポン券の配布を行うほか、受診希望者の利便性の向上のため集団検診に加えて個別検診を実施し、受診率の向上を図ってまいります。